



しののめ

創立40周年記念 平成28年3月3日発行



「卒業式を目前に控えて」



校長
山内 賢一

平成二十八年三月四日、皆様の祝福をいただきながら、三年生が門出の時を迎えます。今回の卒業生は、私自身、東中で共に三年間を過ごした皆さんであり、入学後の成長の様子をずっと見てきました。立派に成長した皆さんの姿を見て、校長として、その巣立ちに際して、とても大きな感動や思いが湧き出てきています。入学式以来、様々なことがあった年月を思い返せば、子どもたちの成長の陰には、常に保護者の皆様を始めとし、地域の皆様方のご支援があったと深く感謝いたしております。大変多くの方々にお世話をいただいたことに対しまして、教職員を代表し、心より御礼申し上げます。

卒業式に当たり、私が常に大切にしている言葉を贈ります。それ



は、「共生」つまり、共に助け合って生きていくという意味を持つ言葉です。人は、一人では生きられません。誰かの支えが必要な時が必ずあります。そんなとき、優しく、そっと支えられる人になってほしいと思います。そしてもう一つ、生きていくためには社会のルールやマナーを「守る勇気」が必要になると思います。ルールやマナーは、皆さんを縛るものではなく、

互いが気持ちよく生活するためのものがあり、ルールやマナーを守ることで、全体の動きも、よのスムーズになります。社会の一員としての勇気を大切にしてください。

次に、卒業生を送り出す在校生の皆さん、三年生の先輩が卒業した後、東中を支えていくのはあなた方です。最高学年として、中堅として、これまでの自分の様子を振り返り、新たな年度に向けて、新入生を迎えるよき先輩として、大きく変化し成長してくれることを心から望んでいます。

東雲日記

明日、卒業式を迎える。第四十回だ▼今年の卒業生が在籍した三年間で、地域の方から「あいさつ」についてお褒めの言葉をいただく機会が多くなった。先輩たちから引き継いでできたことを確実にステップアップしてくれた功績は大きい▼よく耳にするコミュニケーション不足だが、人と人と言葉と笑顔を交わす「あいさつ」こそ、その根源だ。

「いいね!」とクリックする前に、顔を見て「いいね!」と声をかける。「おはよう!」と文字を叩く前に、「おはよう!」と友の肩を叩く。そんな実感溢れるふれあいこそ、コミュニケーションの神髄だ▼コミュニケーションを直訳すると?情報伝達となりそうだが、意識すれば、意思の疎通や心の通い合いとなる。単純な情報伝達なら機械でもできるが、心のふれあいとなると…人の生の声や温かい笑顔に勝るものはない。だから、奥が深い。(奈)

このお便りは、生徒のみなさんと保護者の方々に向けて発行しています。



RENMA



NEWS

< 3年生を送る会 後輩たちから心を入れて…卒業、おめでとう！ >



3月1日(火) 全校生徒による「3年生を送る会」が盛大に行われました。3年生の卒業を祝う1年生と2年生の出し物を皮切りに、箏曲部や吹奏楽部、懐かしい先生方のビデオレター、そして、待ちました！3年生の先生方の出し物と、3年生のみなさんにとっては、心に残る一日となりました。そして、最後は、お礼として、3年生の先輩たちのすばらしい歌声が体育館いっぱいに響きました。生徒会のみなさん、先輩たちのために、すばらしい会をありがとうございました。

【毎日更新中です！東中ホームページ】

東中の子どもたちの素敵なニュースをタイムリーにお届けする「東中ホームページ」…平成23年度9月の開設以来、毎日の更新を続けています。学校だより「しのめ」とともに、ぜひ、ご覧ください。この「しのめ」もカラーで楽しんでいただけます。よろしくお願いします。



HPアドレス <http://www.owariasahi.jp/higashi-j/> (毎日更新中)

※「尾張旭市立東中学校」で検索クリックすると…HPへジャンプします。



尾張旭市立東中学校 学校だより「しのめ」編集部

〒488-0051 愛知県尾張旭市下井町前の上1602番地

教頭：加藤奈保樹 ☎ 0561(54)6511 FAX 0561(52)2905